



新風会
ほんだ じゅんや
本田 順也 議員

コロナ禍における選挙

Q コロナ禍前後の投票率は。

A 衆院選は平成29年10月58・43%、令和3年10月59・86%。県知事選は平成30年2月37・51%、令和4年2月46・47%。どちらも上昇しているが、選挙戦の構図や社会問題などもあり、一概にコロナの影響とは言えない。

Q 医療や福祉施設に現知事のパンフレットがあったが、面会ができない状態で、県知事選は公平な選挙ができたのか。

A 立会人等のもと不在者投票ができる。公平な選挙ができたと思う。

Q 投票時間を両市と同じ午後6時で締め切ることができないのか。

A 今のところ考えていない。

Q 投票率を上げ予算削減する秘策として、来年の市議選を統一地方選に合わせるかどうか。

A 法律上、市議選と統一地方選(県議選)の同日選挙はできない。議会が解散すればできるかもしれない。

人口減少による影響

Q ①賃貸など、一戸建ての物件は。

A ②市営の空き家物件は。

Q ③倉庫や店舗の空きスペースは。

A ①そのまま活用できる空き家(Aランク)と一部修繕すれば活用できる空き家(Bランク)が319戸。そのうち貸したい空き家が29戸、売りたい空き家が42戸。②市営住宅742戸のうち空き室が155戸。そのうち、入居可能な空き室は50戸。③把握していない。

Q 空き家バンクの現状は。

A 空き家バンクへ36件が登録し、売買17件、賃貸10件の成約。うち市外の移住者は各1件。空き家バンクは移住者が求めるより、市内の方の求めが多い。移住より定住の一助になっていると分析。

Q 中心部を不動産業者に任せ、遠くは市営住宅など公共で賄えば、地元から離れることはない。全部をまとめたサイトがあれば、地元の人も移住の人も売り買いできるのでは。

A 市内での転居も含め、新たな移住に空き家を活用し、人口減少にどう歯止めをかけるか、前向きにプロジェクトチームでも立ち上げて議論する必要がある。

【その他の質問項目】

◇産業の活性化



新風会
うえだ よしさだ
上田 義定 議員

公共施設等総合管理計画の進捗とその後の在り方

Q 温水プールは令和4年度から解体却となっているが、実際はどうか。

A 令和7年度に新築を予定しており、それをめどに既存施設は可能な限り利用したい。

Q 窓口取扱件数から、イオン島原店内「とるっと」が軌道に乗った今、利便性のよい所に移転したと考えて三会出張所は閉じる検討をすべきときではないか。

A 高規格道路も整備が進んでいる。出平インターチェンジも目に見えて進んでいる。市の中心部まで、有明地区からも安中地区からも短時間で行けるようになりつつある。また、三会出張所の分も「とるっと」、有明支所、本庁舎で賄える数値が出てきていると思う。

Q 現在は、高校生の下宿がほとんどない。桜馬場住宅跡地に高校の学生寮はどうか。

A 桜馬場住宅は、令和8年度までに廃止する計画で、跡地利用の計画は決まっていない。立地のよい場所なので幅広い議論を踏まえ検討していきたい。

Q 上の原配水池跡地に、スポーツ交流人口誘致、雨天や猛暑時にお年寄りのグラウンドゴルフなど、更に駐車場として活用できる屋根付き多目的広場はどうか。

A 球場関係者から駐車場がないと聞く。議員の提案は面白いが、駐車場が欲しいので現場の声を聞いてみたい。

島原城 国の史跡指定

Q お堀の石垣が県の史跡指定になっている。現代的な建物は構築できないなど、本市にとって不都合があるが経緯は。

A 島原城跡は平成28年に県指定史跡となった。現在、国指定に向けた報告書の取りまとめや調査を行っている。

Q 県の史跡指定を取り下げればどうか。島原文化会館建替えの適地はここしかない。

A 過去、全国で史跡指定返上の事例はない。島原文化会館は二の丸跡に限定しては考えていない。時間をかけて検討していきたい。